



ぬける、メビウス!!

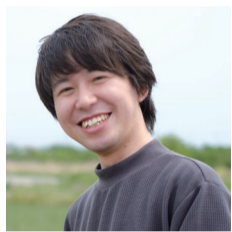
》メインロケ地は我孫子

2月に全国公開された映画「ぬける、メビウス!!」は、初めて我孫子がメインロケ地となった作品です。主演の坂ノ上茜さんをはじめとする俳優、加藤慶吾監督、スタッフはビジネスホテルに泊まりこみ、感染症の心配もある中、手賀沼FCや市民の方の支援を受け、完成しました。

「敷かれたレールを歩いている途中で、そこから降りることの難しさ」を描いた、遅咲きの新時代青春映画

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭の短編コンペティション部門で観客投票1位を獲得した「想影」の加藤慶吾監督の初となる長編作品です。主演は、月9ドラマ「監察医 朝顔」などに出演した坂ノ上茜さんが務めました。

初の長編映画のロケ地を選んだ理由とは？



▲加藤慶吾監督

加藤監督 多くの作品で使われている布佐のファミレス跡地、そしてロケハンで各所を紹介してもらう中で、主人公のお気に入りの「街から歩ける、見晴らしの良い場所」のイメージに高野山桃山公園がぴったりで、ここを中心に使おうと決めました。

撮影は、手賀沼FCの手厚いサポートに加え、市民の方も協力的で、主人公の家として布佐の空き家を自由に使わせていただきました。10日間の撮影のうち、7日はスタッフ、キャストが天王台のビジネスホテルに宿泊し、朝から夜まで市内各所で撮影しましたが、「合宿感が楽しかった」と言っていました。まちと一体になって撮影に取り組むことができ、とてもよかったです。

手賀沼は、湖ほど大きくなく川ほど小ぶりでもない、ほどよい大きさです。市内には、住宅街あり、田園風景ありと、幅広い舞台設定で使える場所なので、機会があればまた使いたいと思います。



ぬける、メビウス!!

坂ノ上茜
主演：坂ノ上茜、中島健人、松原菜野花、藤田朋子
吉岡すみれ、櫻井ナツ
加藤慶吾(特別出演) 寺島進(特別出演)
監督：加藤慶吾 脚本：村上カノ
主題歌：「生活」 藤原さくら (LIVE&RECORD)
※原曲：Zeeb Water & Moonlight
※原曲：1997
24歳にして、大学進学に向けて突っ走る、遅咲き青春映画!!



▲坂ノ上茜さん(ファミレス跡地)



▲右：細田善彦さん(高野山桃山公園)



▲右：田中偉登さん(手賀沼公園)



▲松原菜野花さんと、エキストラで出演した上村建設工業の皆さん



▲左：藤田朋子さん(布佐の空き家)

加藤慶吾監督が星野市長にDVDなどを寄贈

7月26日のDVD発売とインターネット配信開始に合わせ、加藤監督が星野市長を訪問しました。監督は撮影支援への感謝を伝えるとともに、DVD、台本、出演者のサイン入りポスターを寄贈しました。



ロケ誘致に欠かせない市民の力 支援事業者インタビュー



社長室もロケに使用

上村建設工業株式会社

代表取締役 上村英生さん

ロケというのは東京でやるものと思っていました。会社での撮影は初めてで、会社の看板もそのまま使われ、スクリーンに映った時は感動しました。高野山桃山公園から見える手賀沼や、布佐の街並みが素晴らしい。

多く、我孫子の良さを再発見できると思います。「映画を見ました」という電話や「写真を撮らせてほしい」と会社を訪ねて来るなど、反響に驚きました。

最近は市内でのロケが増えていると感じます。また撮影の依頼があれば、ぜひ協力したいです。

加藤監督 上村建設工業さんは、社員の方もエキストラで出演いただきました。図面などの小道具も会社の物をそのまま使いました。休日にもかかわらず、社長と社員の皆さんの協力で撮影できました。

喜久屋秀峰

間中崇彰さん

手賀沼FCを通じてロケ弁を提供したことはありましたが、ロケ地になることは初めてでした。撮影は夕方から約2時間で、店の食器も使われました。十五夜だったので月見団子を作っており、差し入れたところ皆さんに喜んでいただけました。

ロケ弁を提供した時に「俳優さんがおいしいと言っていた」と聞くと、陰ながら協力できているなど、やりがいを感じます。

加藤監督 お店を洋風な雰囲気模様替えして、デートシーンの撮影に使いました。和菓子の差し入れも頂き、歓迎されていると感じました。



店内に飾っている2人のサイン入り色紙

アビシルベ・アビスタ・水の館などで、本作のロケ地をまとめたPR動画を放映中です。図書館アビスタ本館では、「ぬける、メビウス!!」のDVDを貸し出しています。